

子どもの本と文化を、
子どもの未来のために

大阪国際児童文学振興財団

INTERNATIONAL INSTITUTE for CHILDREN'S LITERATURE, OSAKA



REPORT

No.12

2022.10

編集・発行／一般財団法人
大阪国際児童文学振興財団
〒577-0011
東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL 06(6744)0581 FAX 06(6744)0582

<http://www.iiclo.or.jp/>

「つながり」を求めて

理事長 宮川健郎

新型コロナウイルス感染拡大の波が何度も打ち寄せて、なかなか収まりません。不安で不自由な日々がもう長くなっていきますが、それでも、皆様がお元気で過ごすのをお願いいたします。

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団（IICLO）は、コロナ禍における新しい試みとして、「YouTube版本の海大冒険」を毎週配信してきました。絵本、読み物、YA、科学の新作の紹介です。これは子ども向けですが、毎月一回、「新刊子ども本」ここがオススメ」という番組も用意して、子どもたちに本を手渡す大人に向けて、紹介した新刊の読みどころを語っています。いずれも幸いに好評をいただき、回数を重ねています。

オンライン講座Ⅰ「授業に役に立つ！子どもの文学5つのレッスン」も公開中です。小学校の国語教科書には、教材としてたくさんのお話や文章がのっています。講座は、教材化された宮沢賢治やあまのきみこの童話を読み直す講義と、そこから発展した読書案内を組み合わせた毎回60分です。全五回の講座の最終回には、「白いほし」「名前を見てちょうだい」「ちいちゃんのかげおくり」など、多くの作品が教科書に掲載されている、作家のあまのきみこさんに登場していただいて、直接お話をうかがいました。



あまのきみこさんは、以前、当財団の評議員も長くおつとめくださいました。

私たちの財団は、これまで教育現場とのつながりが弱かったかもしれせん。今回のオンライン講座は、教室で子どもたちといっしょに児童文学を讀んでいる教師や学校司書の方たちとの新しい「つながり」を創ろうとするものです。オンライン講座やYouTubeでの新刊紹介は、新しい「つながり」の模案です。

財団移転十周年の「昨年、財団のそれまでの活動と現状を整理して、メールマガジンの特別号などでお知らせしました。財団の経営がたいへん困難であることもうったえ、目標額を超えるご寄付もいただきました。

私たちは、いま、新しい「つながり」や「つながり方」を創ることこそが、財団の活動に広くご理解をいただき、活動を先に進める道だと実感しています。二〇二二年一月、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻がはじまり、世界は、危機的な状況におちいっています。子どもの本・子どもの文化の未来を拓くことは、世界の未来の創造にほかなりません。引きつづき、ご支援、ご協力をいただけますよう、心からお願い申し上げます。

第18回国際グリム賞

朱自強教授が受賞

国際グリム賞は一般財団法人金蘭会および大阪府立大手前高等学校同窓会金蘭会との共催で、国際的分野で児童文学界に貢献した研究者に対し、隔年で贈られる賞です。

第18回の令和3年度は、中国海軍大学教授の朱自強教授が受賞され、新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりを受けて、授賞式と記念講演会をオンラインで行いました。YouTubeで無料配信しています。

- 開催日：令和4年1月29日(土)
- 式典場所：大阪府立中央図書館
- 受賞者：朱自強教授
- (中国海洋大学教授)

- 演題：「21世紀における中国児童文学の創作と研究の潮流」
- 字幕翻訳：浅野法子
- (大阪成蹊短期大学准教授)
- 配信開始日：令和4年3月12日(土)

〈授賞理由〉

朱自強教授は、国際的視野をもって中国における児童文学の研究と教育を着実に発展させると同時に、海外に中国児童文学および児童文学研究を紹介されました。

1987年、1990年および1997年にはそれぞれ1年間、東京学芸大学、大阪府立国際児童文学館および大阪教育大学で研究すること、「日本児童文学論」をまとめ、日本児童文学作品を

翻訳し、中国に多様な児童文学研究理論を紹介されました。同時に、児童文学理論、中国児童文学史および現代の中国児童文学、絵本、国語教育、子どもの読書についてなどの研究、評論、教育的著書を幅広く執筆し、『朱自強学術文集全10巻』にまとめられました。子ども中心主義の思想と研究方法に特徴があります。

加えて、国際会議を組織したり、海外の研究者を中国に招いたりしたりすると同時に、海外で中国の児童文学について発表することで、児童文学研究の国際交流に貢献されました。

〈講演の概要〉

中国児童文学史の3つの分岐点を「分化」というキーワードでまとめ、「童話から分化したファンタジー(幻想小説)、幼年文学から分化した絵本、大衆児童文学への分化について論じると同時に、中国児童文学は、いかに生まれてきたかについて、新たなアプローチの必要性について言及しました。



オンライン国際講演会 ことばを超えて —絵で物語る—

新型コロナウイルス感染症拡大のため、海外から講師を招へいするのが難しい中、3つの国を結んだ国際講演会をオンラインで実施しました。講演会当日は観客なしで実施し、録画した動画を編集して字幕を付与した後、公開しました。

■開催日：令和3年12月16日（木）
■配信日：令和4年3月26日（土）
（令和4年6月12日（日））

■講師：
デイヴィッド・ウィズナーさん
（アメリカ合衆国の絵本作家
シヨーン・タンさん
（オーストラリアの絵本作家）
■司会：土居安子（当財団総括専門員）
■字幕翻訳：松下宏子さん（関西大
学非常講師ほか）
■参加者：277人

（講演会の概要）
第1部は、ウィズナーさんがエリック・カールミュージアムで企画した展示「言葉で表現しない—文字なし絵本のアート—」について、画像を見せながらお話しくださいました。展示には、タンさんの『アラバール』も含まれており、タンさんから展示について、また、文字なし絵本について感想が述べられました。
第2部は、講師それぞれが、自作についてやお互いの作品について語り合いました。



お二人はじっくり語り合うのははじめてのことでしたが、芸術家として、また絵本作家として共通点が多くあることがうかがえました。

■主 催：当財団
■協 賛：サントリーホールディングス株式会社、富士通Japan株式会社、ムサシ・アイテクノ株式会社
○報告集の販売を予定しています。

講演会 シンデレラ話の多様な 世界を楽しもう

「シンデレラ」は世界中に広がっている昔話であり、地域や再話者によって多様な「シンデレラ」があります。何をもって「シンデレラ」というのか「シンデレラ」からはどんなメッセージが読み取れるのかについて考える講演会を開催しました。

また、同時開催として、三宅興子さん（当財団特別顧問、梅花女子大学名誉教授）が大阪府立中央図書館国際児童文学館に寄贈された貴重な「シンデレラ」本が大阪府立中央図書館のエントランスで展示され、当財団も企画協力しました。

■開催日：令和3年12月18日（土）
■場 所：大阪府立中央図書館
■講 師：横川寿美子さん（児童文学研究者、同志社女子大学嘱託講師）

■参加者：50人
■主 催：当財団
■後 援：大阪府立中央図書館
*子どもゆめ基金助成活動
○報告集を販売しています。
(800円・税込)。



オンライン講座 授業に役立つ「子ども の文学5つのレッスン」

当財団職員が講師となつて国語教科書に掲載されている児童文学作品を読み解く全5回の連続講座を企画し、第1回「宮沢賢治を読み直す①「注文の多い料理店」の配信を始めた。1〜4回までは、毎回発展読書案内（土居安子担当）もあります。

■配信日：令和3年11月30日（火）
（令和5年3月31日（金））
■講 師：宮川健郎（当財団理事長）
第2回以降のプログラムは次のとおりです。令和5年3月31日（金）まで配信します。

第2回 宮沢賢治を読み直す②（雪渡り）（遠藤純）
第3回 あまんきみこを読み直す①「白いぼつし」と「名前を見てちょうだい」（宮川健郎）
第4回 あまんきみこを読み直す②「いちやんのかげおくり」（土居安子）
第5回（特別編）
あまんきみこを読み直す③あまんきみこさん
に聞く読む
ことの喜び

■主 催：当財団



オンライン講座 2020年に出版された 子どもの本

2020年に出版された子どもの本約300冊をテーマやジャンル、年齢別に紹介し、現在の子どもの本の傾向について考える講座をオンラインで配信しました。

■配信日：令和3年7月31日（土）
（令和3年12月15日（水））
■場 所：大阪府立中央図書館
■講 師：土居安子
■参加者：219人
■主 催：当財団



日本児童文学学会 第60回研究大会

日本児童文学学会第60回研究大会実行委員会の事務局として、大会を実施しました。講演会、ラウンドテーブルと19本の研究発表がありました。

■開催日：令和3年11月20日（土）、21日（日）（2日間）
■場 所：大阪府立中央図書館
■参加者：165人（会場47人、オンライン118人）
△講演会V「さらさらながら、今だからその少女小説—『若草物語』から「長くつ下のピッピ」まで—」
■講 師：斎藤美奈子（文芸評論家）
■主 催：日本児童文学学会第60回研究大会実行委員会（事務局：当財団）

■協 力：大阪府立中央図書館



目産 童話と絵本のグランプリ

アマチュア作家を対象にした創作童話と絵本のコンクール「第38回目産童話と絵本のグランプリ」を実施しました。審査の結果、入賞

作品38編を決定しました。

●応募数
童話の部1,763点、絵本の部347点 計2,110点
●童話の部 大賞
「木箱の蝶」 藪口 莉那さん
●本の部 大賞
「みかんきょうだいのたんけん」
ホソカワレイコさん

●表彰式を令和4年3月5日（土）にオンラインで開催しました。特別講演会を実施し、YouTubeで無料配信しています。

●特別講演：「お話の種の育て方」
■講 師：富安陽子（編集員、童話作家）
■配信開始日：令和4年3月19日（土）

■内 容：童話・絵本の創作やグランプリ応募にあたっての具体的な助言

また、第37回童話の部大賞および絵本の部大賞作品をB1出版から令和3年12月に出版しました。

童話の部「ながみちくんがわからない」
美治／作
数井 奥野／絵



絵本の部「マロングラッセ」
だるま森／作



子どもに本を 手渡す人のために

●講座への講師派遣

子どもの読書活動にかかわるボランティア、司書、学校司書、教員、保護者や子どもに本に関心のある人等を対象とした、本の選び方や読書活動のありように関する研修や、本の楽しさを伝える講座、講演会、読書会の講師として、総括専門員、特別専門員を派遣しました。

実施回数：21回

●気になる本を読む会

大阪府域の学校司書とともに、選書をはじめとする学校図書館活動に関わる研究会を実施しました。

登録者数：26人
実施回数：12回

●審査員・委員など

左記の事業に、審査員や委員として参加しました。

- ・第17回大阪こども「本の帯創作コンクール」
- ・令和3年度「心の輪を広げる体験作文」審査（大阪府福祉部）
- ・第40回人権啓発詩・読書感想文審査会（大阪府民文化部）
- ・「コープのえほんでスマイル」専門委員会（大阪いずみ市民生活協同組合）

子どもたちに おはなしの楽しさを

●大阪府立中央図書館との連携

大阪府立中央図書館こども資料室でのおはなし会および人形劇は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

●小学校や図書館でのおはなし会やワークショップ

国立国際美術館「ちっちゃなこどもびじゅつあー」(3回)
・豊中市立東丘小学校での小学生を対象とした、物語体験ワークショップ(2回)

●街頭紙芝居の実演

「むかしの紙芝居を楽しもう」
開催日：令和3年11月6日(土)
場所：大阪府立中央図書館
出演：一般社団法人塩崎おとぎ紙芝居博物館

主 催：大阪府立中央図書館
国際児童文学館、文学館、当財団
協 力：一般社団法人塩崎おとぎ紙芝居博物館



●「おはなしポップ」と「人形劇サークルぱれっと」の財団事業への参画

子どもと本をつなぐさまざまな事業に当財団所属のボランティアグループに参画していただきました。

また、「おはなしポップ」は絵本やおはなしに関する研修を2回行いました。

ほんナビぎっず

「ほんナビぎっず」はインターネットで楽しく遊びながら、こぼや感情を選ぶことによりお気に入りの本に出会うシステムです。

ムです。
キーワード、あらすじは当財団で独自に作成。令和3年度は1,478冊の本を追加しました。共同開発：富士通Japan株式会社

本の海大冒険の充実

平成26年度にリニューアルしたインターネットで読みたい本が探せるサイト「本の海大冒険」に新刊図書データを追加し、いっそうの充実を図りました。

協 力：株式会社ジャスティス

ドキドキ絵本づくりに for Kids

平成25年度に開設した、インターネットを見ながら絵本の作り方を体験することができるウェブサイト「ドキドキ絵本づくり for Kids」について、チラシの配布や、ワークショップ等を通して普及を行いました。

協 力：株式会社ジャスティス

マンガのひみつ大冒険

平成28年度に開設した「マンガのひみつ大冒険」は、子どもと子どもに読書をすすめる大人を対象に、マンガを通じた読書の楽しさや広がり、インターネットで検索したり、遊んだり、体験しながら知ることで読書の読書活動支援ソフトです。

協 力：株式会社ジャスティス



子ども読書活動の 推進のために

●大阪府子ども読書活動推進施策への協力

大阪府が推進する「第4次子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動に関わる他の団体・組織とともに、府内の子ども読書活動推進に努めました。

ツイッターでつぶやいています

平成29年7月からツイッターで営業日は毎日、いろいろな情報を発信しています。ぜひ、フォローしてください。

https://twitter.com/CLO_News

YouTube公式チャンネル

令和2年4月に、(大阪)国際児童文学振興財団公式チャンネル(CLO)を開設しました。現在、YouTube版「本の海大冒険」(絵本編、読物編、YA編、科学編)を毎週金曜日に、大人向けに紹介する「新刊子どもの本」(こがオススメー)を毎月10日に配信しています。ぜひご覧ください。

◆財団ホームページに、公開内容一覧と、動画へのリンクを掲載しています。



内容 もりだくさん! メルマガ発行、 ぜひ会員登録を

毎月メールマガジンを発行しています。発行は、月1回、毎月20日頃に配信しています。登録は無料です。皆さまの登録をお待ちしています。

令和3年7月21日現在、登録数は3,533人です。内容例は左記のとおり。

- 1 お知らせ
財団からのお知らせコーナー
- 2 コラム
1) 新刊書の紹介
専門職員が理事長、児童文学者と毎月一冊の本を選んで対談します。本に対する新しい見方が発見できます。
- 2) 児童文学作家や作品についてのエッセイ
宮沢賢治作品などについて興味深いポイントや、理事長と専門職員が交互に紹介します。
- 3) 子どもの本の珠玉のこぼ
子どもと本や児童文学の評論書にある、印象深い言葉を紹介するコーナーです。
- 4) 行って来ました!
展覧会や映画、講演会など、子ども文化に関わる催しのレポート
- 3 全国のイベント紹介
他団体等が実施するイベントを紹介
- 4 プレゼント
今号でとりあげた本やイベントグッズを抽選でプレゼントします。

共同研究を行いました

●明治・大正期における児童文学・児童文化史の研究―巖谷小波未発表資料の検討を通して
明治・大正期の児童文学についての調査研究を外部研究者とともに行いました。

●研究会の開催（4回）
研究メンバー：浅岡靖史（白百合女子大学教授）、大貫俊彦（千葉工業大学准教授）、香川雅信（兵庫県立歴史博物館学芸課長）、柿本真代（京都華頂大学准教授）、金成妍（久留島武彦記念館館長）、酒井晶代（愛知淑徳大学教授）、中川理恵子（豊岡短期大学講師）、松本育子（刈谷市美術館館長代理）、目黒強（神戸大学大学院准教授）、宮川健郎（当財団理事長、武蔵野大学名誉教授）、遠藤純（当財団特別専門員、武庫川女子大学准教授）、土居安子（当財団総括専門員・研究代表者）

●古田足日と子どもの文化をめぐる総合的考察―蔵書・資料のデータベース化、調査を基に
独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業「基盤研究(C)」
研究分担者：宮川健郎、令和2～4年度

●冷戦前期・東アジア英米文学のジオポリティクス
独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業「基盤研究(B)」
研究分担者：鷺谷花、令和2～5年度

●日本における女性映画パイオニア・フェミニスト映画史の国際的研究基盤形成
独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業「基盤研究(B)」
研究分担者：鷺谷花、令和2～6年度

論文集

「大阪国際児童文学振興財団 研究紀要」第35号の発行

今号も、大阪府立中央図書館国際児童文学館の資料を活用した研究論文を公募しました。4編の応募があり、3編を採用しました。

目次

- 金沢お伽倶楽部―二〇世紀初頭における地方児童文化運動の萌芽― 浅岡靖史
- 巖谷小波の児童文化施設構想 目黒強
- 森永製菓の児童文化関連事業前史―小波・三越とのつながりを手がかりに― 酒井晶代
- 宮原晃一郎「虹猫」シリーズの再検討―森銃二・蔵田周忠との供養塚時代を中心として― 神谷磨利子

第一次「幼年世界」(博文館)の特徴―「良友」との比較を通して― JOURNAL「子供の時間」発展期の研究 土居安子

中国の児童文学理論書における松居直の絵本観の受容―「図画書」の定義・分類の変遷を中心に― 劉娟

「国際グリム賞受賞記念講演」21世紀中国児童文学創作と研究的发展动向 朱自強

21世紀における中国児童文学の創作と研究の潮流 朱自強

翻訳・訳注：浅野法子

出版や展示の企画を行いました

貴重な資料の複製や作家選集論文集など児童文学・児童文化に関する各種出版事業の相談に応じています。

「進研ゼミ電子図書館まなびライブラリー」

株式会社ベネッセコーポレーションから受託し、選書の支援を行いました。

「出版社等による企画協力業務の受託」

公益財団法人伊藤忠記念財団「小学生が楽しめる英語の絵本45」の選書と紹介文を執筆しました。

資料を販売しています

「財団発行資料」

・2020年度講演会報告集「しかけ絵本に驚く、楽しむ イギリスの歴史からはじめて(三宅興子)」 13000円

・2020年度報告集「移転10周年記念 フォーラム「子どもの本の現在(いま)と未来(これから)」(宇野和美、竹下晴信、富安陽子、宮川健郎)」 8000円

・「国際児童文学館紀要」1号～26号 11000円～20900円

・「大阪国際児童文学振興財団研究紀要」27号～35号 14300円～17600円

そのほか、国際講演会報告集、論文集など多数あります。「ご希望の方はお問い合わせください。(価格は税込)」

寄付のご報告とお願い

移転10周年記念寄付(令和2年11月～令和3年10月)には、のべ506人の方から目標を上回る640万円をご寄付いただきました。多くのご支援に深く感謝申し上げます。IICLOの経営状況はまだまだ厳しい状況にあります。継続してのご協力をお願い申し上げます。



【ご寄付の種類】

◇継続寄付(毎年、毎月) ◇単発寄付

【ご寄付の方法】

◇クレジットカード

ウェブサイト「Syncable(シンカブル)」の大阪国際児童文学振興財団ページから

◇ゆうちょ銀行 振替口座に払い込みください。

□座番号 00910-8-282098

加入者名 一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

※ 他の金融機関からの振込の場合

店名 ○九九店(ゼロキョウキョウ店)

店番 099 預金種目 当座

□座番号 0282098

1万円以上ご寄付をいただいた方には佐々木マキさんデザインのイクロちゃんグッズをプレゼントしています。

◆令和3年度は、379件

14,458,748円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

(ご寄付いただいた方々のお名前別紙をご覧ください)



資料のご寄贈をありがとうございました

今年度も出版社、作家、研究者、同人誌サークルなどから、児童書や児童書に関する資料などの寄贈をいただきました。これらの資料は、永久保存および一般の利用に供するため、大阪府立中央図書館国際児童文学館に引き継ぎました。(ご寄贈いただいた方々のお名前は別紙をご覧ください)

図書	4,109冊
雑誌	4,380冊
その他資料	1,030点
計	9,519点

編集後記

「大阪国際児童文学振興財団レポート」第12号をお届けいたします。当レポートでは、令和3年度に実施しました主な事業を掲載しています。公式の事業報告、決算報告はホームページで公開しています。

図書資料の寄贈・寄付金・各種の事業協力など、皆さま方のご支援・ご協力で深く感謝いたします。引き続き皆さま方のご支援をお願い申し上げます。忌憚のないご意見をお願い申し上げます。